



3. 伝え方でプレゼンを強化する！



自分を客観的に観てみる！

他人のことはよくわかる

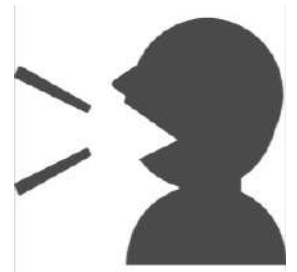
自分が一番難しい・・・

自分自身の課題は？

よくある課題

- 視線がコントロールできていない
- 早口になる
- 「間」がとれない
- 余計な口癖がでる（え～、あの～など）
- 余計な体の動きがある
- 相手に伝わってない言葉を使う
- 相手の話を聞いているようで聞いていない
- 相手の話を遮っている

自分で課題に気づいていること！

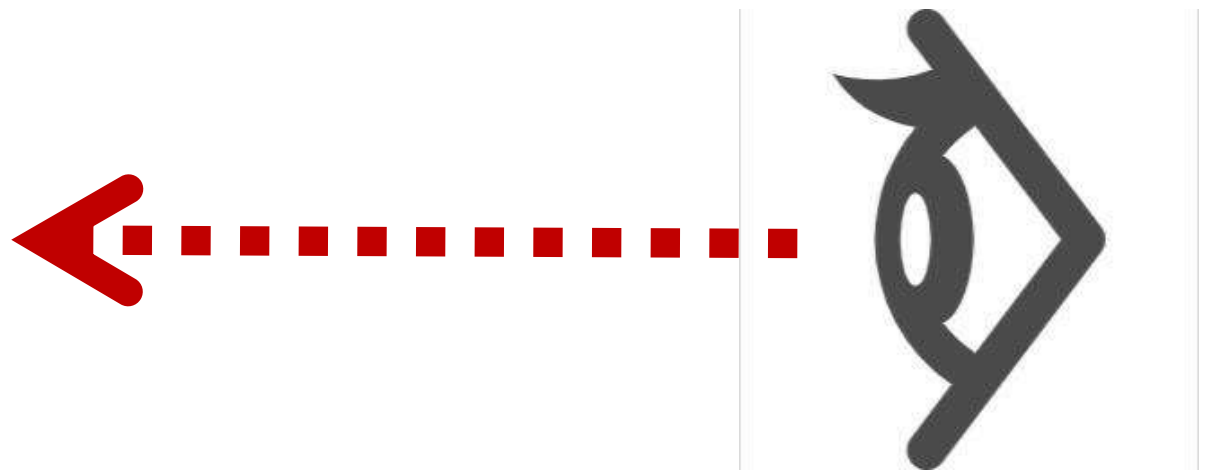


聴き手を観察する方法

緊張する理由にはいろいろありますが・・・

相手の反応がつかめないと
どんどんつらくなってきます。

大前提は相手を「見ることができる」こと



視線をコントロールするために

視線は考え事をするときさまようようにできています。

しかし、視線が定まっていないと話に力がこもりません・・・

そこで、必要なのが

「視線を固定」して考えるトレーニングです。



余計な言葉は「減らす」！

口癖は誰にでもありますが、不要な口癖が多いもの・・・

耳障りになる癖がないかどうか？まずは知ること。

次にその口癖を出さないようにすること。

ただし、ゼロにするのではなく**減らす**こと！

→ 2週間くらいの間、徹底することで身に付きます！

それによって「間」がとれる！

口癖がなくなると？

ずばり「**間**」に変わります！

話し手と異なり、聞き手は話の先が読めません。
また資料を目で追っていたり、スライドを目で追っていたり
しながら聞いています。


1 秒の「間」をとることを意識しましょう！

→「間」によって**観察**もできます！

聴き手を惹きこむための感情表現

現場でありえそうなことを想起させるために

感情表現も有効



説明は淡々とするが
感情表現はおもしろい

エピソードを「会話」で語る！

ポイントを強調する「間」で惹きこむ

・・・ (キーワード) ・・・
↓ ↓

キーワードの前と後ろに意図的な「間」を入れる！

その他にも

- キーワードをあえて大きく or 小さく
- キーワードをあえてゆっくり

なども有効です

相手がわかる言葉を使う！

専門用語・業界用語
(ということを忘れる)



自分には**日常用語**に・・・

例えば

「シュシショウドク」

色々な誤変換が起こる・・・

シュシショウドク



種子消毒？ 主旨抄読？ 趣旨笑読？



手指消毒

誤解されにくい工夫

- 音読みより訓読み（「しゅし」→「てゆび」）
- 熟語を分解する（てゆびをしょうどくすること）
- なじみのない横文字を乱用しない
 - ・アジェンダ？（目次）
 - ・カンファレンス？（会議）
 - ・エビデンス？（証拠）

誤解されにくい工夫

3文字アルファベットも要注意！（ICTって？）

Information **C**ommunication **T**echnology

→情報通信技術

Infection **C**ontrol **T**eam

→感染予防チーム

業界が異なれば全く意味が異なる！

中身を補足するジェスチャー



ジェスチャーは効果的なツール

しかし・・・



**内容と無関係な動きは
逆効果・・・**

中身を補足するジェスチャー

- ✓ 時間の話は手を横に使う
- ✓ コストの話は手を縦に使う
- ✓ プロセスを表現する
- ✓ 場所の違いで表現する
- ✓ 大勢の前では手を大きく使う
- ✓ 示すのは顔の横で

表現の工夫でも演出できる！

- ✓ 固有名詞を意識的に入れる
- ✓ インパクトのある数字を使う
- ✓ 最初に空気を変えるための工夫を入れる
- ✓ 問いかけで聴き手を「参加者」にする

資料に集中してもらうために

とにかく

示す

スライドの場合

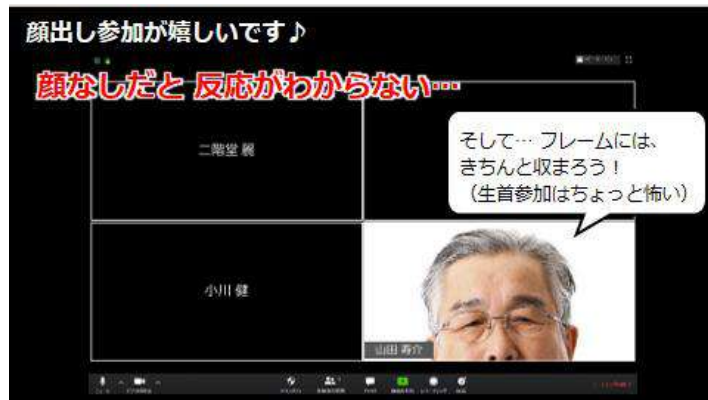
- ✓ 見てもらいたいところに手を！
- ✓ ポインターなら最小限に！
- ✓ せめて場所についてコメントする
- ✓ アニメーションで最小限の所しか見せない



オンラインならではのポイント

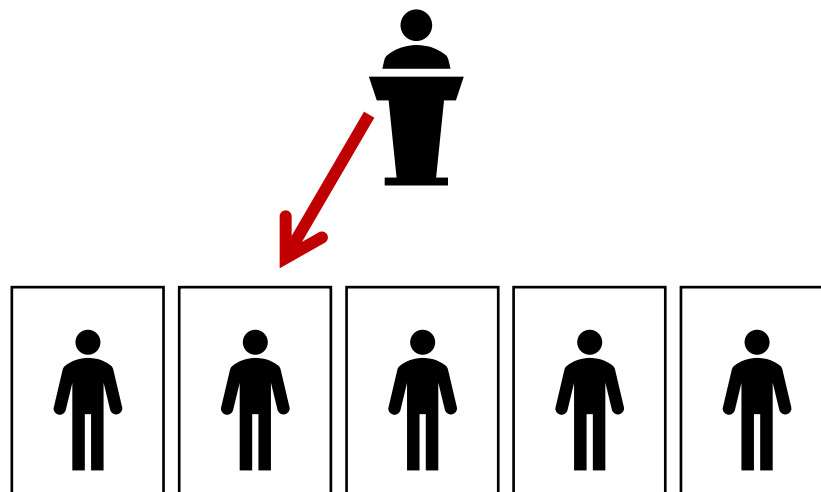
乗り遅れて後ろ向きにならないように！

(Zoomの例)



意図的に1対1を作り出す

「誰に？」を明確にする！



- 名前を表記可能なら表記してもらおう（固有名詞で呼びかけるために）
- 早いうちに全員と少しだけ会話する（音声状況のチェック兼ねて）
- 考える時間を長めにとってから指名する
- 答えてくれた人に全員で拍手（顔の横で！！）
- 「意外とどンドン飛んでくるぞ」感によって一体感が出る！
- 画面共有が続くとしんどいので、こまめに切る

リアクションのルールを作る

「見える」リアクションが必要

- ✓ うなづき（必ず練習を入れる）
- ✓ 顔の周りでのアクション（拍手も！）
- ✓ タイムキーパーなど役割を明確にして参加意識を高める
- ✓ 発表者へのリアクションで心理的安全を作る
- ✓ 発表へのフィードバックを他者に求めることも有効

大前提！ **自分**がやっていること！

目線をどこに置く？

カメラ目線



ちよいと上すぎ

わずかに下



ちょっと改善

5センチ下



いい感じ！

カメラの**やや下**でちょうどよい



4. 人の心を動かす



まずは情報整理！

多摩美術大学と小田急電鉄が連携協力協定を締結

アート&デザインの力によって、地域活性化や生活環境向上などを目指します

① **多摩美と小田急電鉄が協定締結により目指すこと**
多摩美術大学と小田急電鉄が協定締結により目指すことに関する研究の充実、地域活性化・生活環境向上への活用の推進のために、2020年3月17日（火）に連携協力協定を締結しました。

両者はこれまでも、新宿中央公園において小田急電鉄が企画する参加型イベント「Candle Night @ Shinjuku Central Park」の開催（2018年12月、2019年12月）にあたり
② **今までの共同施策** 共同してアートやデザインが企画やオブジェ制作、運営などに参画することで、アートやデザインを活用した街の活性化に取り組んできました。

今後、連携協力協定を締結することで、連携の深化を図り、小田急電鉄のブランディングの強化や新宿をはじめとした小田急沿線の地域活性化等を目指します。

なお、本協定に基づく最初の取り組みとして、2020年4月から、多摩美術大学の八王子キャンパス
③ **これからの共同施策** 横断的研究や社会的課題に取り組むプロジェクト型科目（PBL：Project Based Learning）に小田急電鉄が参加します。

新宿のまちづくりに関してアートやデザインの視点で課題に取り組む講座を設け、年間を通じて研究と実践する取り組みを推進します。

出典：学校法人多摩美術大学 プレスリリース（2020/3/18）
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000023.000034331.html>

プレゼン資料コンサルタント・市川真樹氏のブログより
<https://maki-ichikawa.com/2020/06/06/online-presentation/>

1スライド1メッセージ (①のみ)

多摩美術大学と小田急電鉄が連携協力協定を締結

学校法人多摩美術大学と小田急電鉄株式会社は、アート・デザイン等に関する教育・研究の充実、地域活性化、生活環境向上への活用の推進のために、2020年3月17日に連携協力協定を締結しました。

プレゼン資料コンサルタント・市川真樹氏のブログより

<https://maki-ichikawa.com/2020/06/06/online-presentation/>

関係性を図解化する

連携協力協定の締結

多摩美術大学



小田急電鉄

締結日：2020年3月17日

1

教育・研究の充実
(アート・デザイン等)



2

地域活性化



3

生活環境向上



プレゼン資料コンサルタント・市川真樹氏のブログより

<https://maki-ichikawa.com/2020/06/06/online-presentation/>

投資家の見る視点

① 課題発見力

- ✓ 顕在化しているが未解決の問題
- ✓ 社会シフトから顕在化しそうな課題

② なるほど！が一言で言える

- ✓ 「誰の何を解決するのか？」がわかりやすい

③ 卓越or独自の「技術力」

- ✓ 差別化というより差異化

× チーム編成